

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	中運動公園調整池浚渫事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	スポーツ推進課		中運動公園調整池浚渫事業		款	10	新規or継続	新規事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設等整備事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	中運動公園調整池に台風や大雨の際、水路から流れ込んだ土砂が堆積しており、浚渫することにより除去する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	中運動公園調整池に台風や大雨の際、水路から流れ込んだ土砂が堆積しており、取り除くことで安全で快適なスポーツ施設とする。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
中運動公園利用人数	人	3,272	10,009	12,416	14,000	14,000
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	中運動公園調整池浚渫工事、測量・設計委託及び工事
--------------------------	--------------------------

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
改修整備する施設数	施設			1
事業費計	千円	0	0	10,280
一般財源	千円			80
特定財源（国・県・他）	千円			10,200
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	浚渫工事をし、堆積土砂を除去したことにより、台風や大雨の際、調整池としての機能が上がり、取り除くことで安全で快適なスポーツ施設とする。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
中運動公園利用人数	人	3,272	10,009	12,416	値が大きいほど良い	効果が上がった
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	渡良瀬川ふれあいスポーツ広場維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H20	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる場所を確保するため、渡良瀬川河川敷の一部を占用許可を受け、ふれあいスポーツ広場として市民に開放し、快適な利用ができるよう広場の維持管理をする。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し 遂げたい 状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。
---------------------------------	----------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
利用者数	人	5,024	5,014	4,601	5,500	5,500
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	・市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる場所を確保するため、渡良瀬川河川敷の一部の占用許可を受け、ふれあいスポーツ広場として市民に開放し、快適な利用ができるよう広場の維持管理をする。 ・河川占用許可の更新。
----------------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
管理委託件数	件	0	0	0
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円	0	0	0
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。
----------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
利用者数	人	5,024	5,014	4,601	値が大きいほど良い	効果が下がった
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		○
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	陸上競技場運営委員会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		コンパクトシティ		スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		陸上競技場運営委員会支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H2	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・陸上競技場運営委員会に交付金を交付している。年 1 回の総会出席、随時意見交換を行っている。 ・陸上競技場運営委員会とは運動公園陸上競技場（第 2 種公認）の利用開始に伴い、施設の有効利用及び効果的利用を図るため具体策の研究協議や円滑で適正な競技場運営ができる活動をし、陸上競技場で開催される陸上競技大会に対し協力を行っている。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・陸上競技場施設・設備の充実及び有効利用に関する研究・提言をしてもらう。 ・公認審判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。 ・各種陸上競技会の大会運営などに協力してもらう。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
利用・運営の提言数	回	1	1	1	1	1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 陸上競技場運営委員会に交付金を支出、年 1 回の総会、随時意見の交換を行っている。 (陸上競技場運営委員会の活動) 施設の有効利用を図るため具体策の研究協議や円滑で適正な協議を行う。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
運営委員会の会議・研究回数	回	3	3	3
運営委員会の大会協力回数	回	8	8	8
事業費計	千円	150	50	50
一般財源	千円	150	50	50
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・陸上競技場施設・設備の充実及び有効利用に関する研究・提言をしてもらう。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
利用・運営の提言数	回	1	1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	秋山川グランドゴルフ場維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課		秋山川グランドゴルフ場維持管理事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H20	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・グラウンドゴルフ場及びトイレの維持管理
------	----------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し 遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。
-----------------------------	----------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市有スポーツ施設の利用人数	人	250,000	300,000	350,000	470,000	470,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・グラウンドゴルフ場及びトイレの維持管理 (河川災害復旧工事のため、R5はグラウンド利用中止)
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
修繕件数	件	0	0	0
除草、剪定	回	1	4	0
事業費計	千円	559	574	117
一般財源	千円	559	574	117
特定財源（国・県・他）	千円			
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
市有スポーツ施設の利用人数	人	241,029	355,475	462,351	値が小さいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 効果が下がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		○
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	運動公園等維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	スポーツ推進課			款	10	新規or継続	新規事業
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業期間	開始年度		実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	運動公園・栄公園・佐野武道館の3施設を市直営で維持管理する。
------	--------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。
-------------------------	---------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
施設利用者数	人	132,898	170,679	205,208	210,000	210,000
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
市有スポーツ施設の利用者数	人	241,029	355,475	462,351	470,000	470,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	令和5年12月1日から令和6年3月31日まで、市直営で運動公園、栄公園、佐野武道館の維持管理を行った。
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
直営施設数	施設			3
修繕件数	件			1
事業費計	千円	0	0	30,182
一般財源	千円			26,180
特定財源（国・県・他）	千円			4,002
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
施設利用者数	人	132,898	170,679	205,208	値が大きいのほど良い	効果が上がった
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいのほど良い	効果は変わらない
市有スポーツ施設の利用者数	人	241,029	355,475	462,351	値が大きいのほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった
	効果が上がった指標数 2指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和6年3月31日で市直営の維持管理は終了した。令和6年4月1日から新たな指定管理者となった。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 運動公園・栄公園・佐野武道館の3施設を市直営で維持管理する。
--	--

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	運動公園等指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市体育施設条例及び同条例施行規則	事業期間	開始年度	H21	実施方法
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市都市公園条例及び同条例施行規則	終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・運動公園、栄公園、佐野武道館の3施設を指定管理者により維持管理を行い、市民サービスの向上と経費の削減を図る
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。
-------------------------	----------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
指定管理施設利用者数	人	132,898	170,679	205,208	210,000	210,000
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
市有スポーツ施設の利用者数	人	250,000	300,000	450,000	470,000	470,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・指定管理者：極東エイジェックパートナーズ (4月1日～11月30日) 市直営 (12月1日～3月31日) ・施設の修繕(1件30万円以上)。 ・指定管理業務のモニタリング。 ・指定管理者への指導、助言。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
指定管理施設数	施設	3	3	3
修繕件数	件	28	19	31
事業費計	千円	117,699	123,969	101,460
一般財源	千円	116,899	123,969	95,462
特定財源(国・県・他)	千円	800		5,998
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
指定管理施設利用者数	人	132,898	170,679	205,208	値が大きいくほ良い	効果が上がった
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいくほ良い	効果は変わらない
市有スポーツ施設の利用者数	人	241,029	355,475	462,351	値が大きいくほ良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R5とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果(R5とR4の指標値増減)	効果が上がった
効果が上がった指標数	2指標
効果は変わらない指標数	1指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○	
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

いずれの施設も開設から、年数が経ち、施設の改修や設備の更新が必要となっている。 施設利用に支障が無いよう、効率的な施設管理、修繕等を実施していく必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	
☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	市民サービスの向上、及び安全・安心な施設維持管理が図られるよう、随時、適切なモニタリングを行う。

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	学校開放事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課		学校開放事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度		実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・市立小中学校及び義務教育学校の施設（体育館 施設、校庭 施設、武道場 2 施設）及び若宮球場の夜間開放に係る運営と校庭の夜間照明施設の維持管理を行う事業。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・市民が身近な学校施設を活用し、各施設を不都合なく安全に利用できる。
-------------------------	------------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
年間延べ利用日数	日	3,000	3,000	4,000	5,400	5,400

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・維持管理：校庭の夜間照明施設の修繕、電気料の支払い。 ・運営：運営委員会から提出された登録申請書の管理を行う。各学校からの行事予定報告を日程表に記載し、各運営委員会へ送付する。（運営委員会は各団体の施設利用日程を調整し日程表を作成し提出。）提出された日程表を各学校、管理人へ送付する。利用後は、各管理人から実績の報告あり、報告に基づき報酬の支払いをする。その他問い合わせ等の対応をする。
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
年間延べ利用日数	日	3,473	2,312	5,337
年間修繕件数	件	5	2	6
事業費計	千円	4,285	4,808	5,749
一般財源	千円	4,285	4,808	5,549
特定財源（国・県・他）	千円			200
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・市民が身近な学校施設を活用することにより、市民一人 1 スポーツを推進する。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
年間延べ利用日数	日	3,473	2,312	5,337	値が大きいくらい良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった
	効果が変わらない指標数
	効果が下がった指標数
	指標全体

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市内小学校と中学校の統廃合が行われ、義務教育学校が開校されることにより、使用できる施設数の減少が今後見込まれている。 このことから、1 施設ごとの利用率の維持及び向上の取り組みが必要となる。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☒ 事業費の見直し検討 ☒ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	体育館の改修工事や義務教育学校への統合等が今後予定されていることから、利用者への周知を行うなど対応する。

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	学校開放体育施設運営委員会活動事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課		学校開放体育施設運営委員会活動事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市学校等施設開放規則	事業期間	開始年度		実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度			事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・学校開放事業において、学校の屋内外体育施設の夜間開放に係る日程調整などの運営に対して運営委員会を組織し、市民が円滑にスポーツを行うことができるようにする。 ・運営委員会は、佐野市スポーツ協会の支部ごとに設置され、区域内の夜間開放施設の日程調整、管理人の選定を行う。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・屋内、屋外の学校体育施設を利用する団体の日程調整を図り、円滑に利用できるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		運営委員会数	団体	19	16	16	16	16
		学校開放利用登録者数	人	4,500	4,000	3,500	3,500	3,500

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 各支部の運営委員会に交付金の支出 (運営委員会の活動) 毎月の夜間開放施設の日程を調整し、市に報告。管理人選定。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		運営委員会数	団体	19	16	16
		運営委員会の開催回数	回	12	12	12
		事業費計	千円	328	276	276
		一般財源	千円	328	276	276
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		運営委員会数	団体	19	16	16	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		学校開放利用登録者数	人	4,564	3,943	3,439		

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用	費用は下がった	費用が増加した
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果は変わらない				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市内小学校と中学校の統廃合が行われ、義務教育学校が開校されることにより、使用できる施設数の減少が今後見込まれている。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	体育施設・学校開放施設貸出事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課		体育施設・学校開放施設貸出事務		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市都市公園条例、佐野市体育施設条例、佐野市学校等施設開放規則	事業期間	開始年度		実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・市内体育施設及び学校開放施設の利用申請において、円滑に施設貸出の手続きを進めるために、各施設の利用申請書の作成を行う。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・体育施設並びに屋内、屋外の学校体育施設を円滑に利用できるようにする。
-------------------------	-------------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
公共スポーツ施設の延べ利用者数（学校開放を除く）	人	350,000	350,000	450,000	470,000	470,000
学校開放登録団体数	団体	274	240	218	240	240

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・市内体育施設及び学校開放施設の利用申請において、円滑に施設貸出の手続きを進めるために、各施設の利用申請書の作成を行う。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
体育施設数		42	41	41
学校開放施設数（屋内・屋外）		62	56	54
事業費計	千円	105	110	92
一般財源	千円	105	110	92
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・体育施設並びに屋内、屋外の学校体育施設を円滑に利用できるようにする。
------------------	-------------------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
公共スポーツ施設の延べ利用者数（学校開放を除く）	人	241,029	355,475	462,351	値が大きいほど良い	効果が上がった
学校開放登録団体数	団体	274	240	218	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	1指標
	0指標
	1指標
指標全体	効果は変わらない

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	体育施設トイレ改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	スポーツ推進課			款	10	新規or継続	新規事業
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業期間	開始年度	H25	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	施設等整備事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市内スポーツ施設の和式トイレを様式化及び汲み取り式トイレの水洗化を図る。
------	--------------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市内スポーツ施設の和式トイレを様式化及び汲み取り式トイレの水洗化を図る。
-------------------------	--------------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
改修整備する施設数	施設	2	2	2	2	2
市有スポーツ施設の利用人数	人	241,029	355,475	462,351	470,000	470,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	改修対象施設 佐野市運動公園
	(内訳)
	市民体育館内トイレ 4基
	テニスコートクラブハウス内男子トイレ 2基
	テニスコートクラブハウス内女子トイレ 3基

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
改修整備する施設数	施設	1	2	2
事業費計	千円	1,990	2,983	2,991
一般財源	千円	1,990	2,983	2,991
特定財源（国・県・他）	千円			
(うち受益者負担)	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	トイレ9基の改修を行ったことにより、利用者の利便性が向上した。
------------------	---------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
改修整備する施設数	施設	1	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない
市有スポーツ施設の利用人数	人	241,029	355,475	462,351	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

今後、トイレが洋式化されていない施設の改修が必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	渡良瀬川緑地運動施設維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課		渡良瀬川緑地運動施設維持管理事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H15	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・渡良瀬川緑地にある野球場 1 面、ソフトボール場 4 面、運動広場 2 面の維持管理。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し 遂げたい 状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。
---------------------------------	----------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
利用者数	人	12,646	13,609	13,519	14,000	14,000
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	・野球場 1 面、ソフトボール場 4 面、運動広場 2 面の維持管理。
----------------------------------	-------------------------------------

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
利用者数	人	12,646	13,609	13,519
事業費計	千円	3,153	2,468	3,121
一般財源	千円	3,153	2,468	3,121
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。
----------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
利用者数	人	12,646	13,609	13,519	値が大きいほど良い	効果が下がった
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した		○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	栃木県体育施設協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課		栃木県体育施設協会参画事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度		実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・栃木県体育施設協会へ参画し、協議会主催の会議や研修に参加することにより、体育施設に関する情報収集や意見交換を行っている。 ・栃木県体育施設協会とは、県内の体育施設の適切な運営管理について協議し、体育の振興に寄与することを目的として、県内市町の自治体や体育施設を管理する事業者等を会員として構成している団体である。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し上げたい状態)	・県内各地の体育施設管理者（協会会員）と情報交換することにより、佐野市内の体育施設の維持管理の向上が図れる。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 栃木県体育施設協会に負担金の支出、年2回の会議の参加を行う。 (栃木県体育施設協会の活動) 年2回の会議、全国会議・研修会2回の参加、関東会議・研修会2回の参加、その他研修会の開催、会員市等への情報提供・交換を行なう。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
会議への出席回数	回	1	2	1
事業費計	千円	4	4	4
一般財源	千円	4	4	4
特定財源（国・県・他）	千円			
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	アリーナためま等指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市体育施設条例及び同条例施行規則	事業期間	開始年度	H20	実施方法	指定管理者
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市都市公園条例及び同条例施行規則		終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	施行規則					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・平成20年度からアリーナためま、葛生武道館、中運動公園、葛生農業者トレーニングセンターの4施設を平成22年度から田沼グリーンスポーツセンター、田沼総合運動場、田沼西運動場の3施設を指定管理者により管理していたが、平成28年度より併せて7施設を指定管理者により一括管理としている
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。 ・市民ニーズに対応したサービスの提供
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
指定管理施設利用者数	人	185,000	185,000	185,000	185,000	185,000
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・指定管理者：NPO法人日本スポーツ振興協会 (令和4年度から令和8年度（5年間）) ・施設の修繕。 ・指定管理業務の監視。 ・指定管理者への指導、助言。
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
指定管理施設数	施設	7	7	7
修繕件数	件	14	11	15
事業費計	千円	76,621	74,409	78,523
一般財源	千円	76,360	74,409	75,437
特定財源（国・県・他）	千円	261		3,086
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
指定管理施設利用者数	人	70,137	122,634	181,417	値が大きいか良い	効果が上がった
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいか良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった
	効果が変化した指標数 1指標
	効果が変化した指標数 1指標
	効果が変化した指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
費用は下がった	効果が上がった	効果が下がった
費用の増減無し	効果が変化した	効果が変化した
費用が増加した	効果が上がった	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

いずれの施設も開設から、年数が経ち、施設の改修や、設備の更新が必要となっている。 施設利用に支障が無いよう、効率的な施設管理、修繕等を実施していく必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 施設利用に支障が無いよう、施設の管理、修繕等を実施する。
---	--------------------------------------

事業名	スポーツ医科学センター調査研究事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	1-②	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	政策調整課			款	2	新規or継続	継続事業
	係	政策調整係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	目	7	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業期間	開始年度	令和３年度	実施方法	一部委託
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度	令和５年度	事業分類	計画策定・管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	スポーツ医科学センターの設置に向けた検討を行う。 ・先進事例、実施内容・方法・場所、効果や課題などの調査研究
------	---

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ医科学センターの設置に向けた整備方針を固める。
-------------------------	-----------------------------

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
策定した方針	件				1	

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	スポーツ医科学センターに係るニーズ調査を実施したほか、スポーツ医科学センターにおける機能等の調査を行った。
--------------------------	---

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
調査件数	件			2
庁内打ち合わせ回数	回		3	2
事業費計	千円	0	0	990
一般財源	千円			990
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	スポーツ医科学センターの整備方針ができる。
------------------	-----------------------

（４）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
整備方針	件				値が大きいくらい良い	

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ １０万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果は変わらない	費用は下がった		
			費用の増減無し		
			費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

調査結果等を踏まえ、整備方針を固め整備に着手する。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 スポーツ医科学センターの整備方針を固め、整備に着手する。
---	--

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	運動公園テニスコート改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	スポーツ推進課		運動公園テニスコート改修事業		款	10	新規or継続	新規事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度		実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設等整備事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・スポーツ振興くじ助成（TOTO）を利用し、運動公園テニスコート（北側 7 面）の全面改修
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・運動公園テニスコート（7 面）の人工芝コート（5 面）の全面更新とハードコート（2 面）の人工芝コートの改修を行った。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
市有スポーツ施設の利用人数	人	250,000	300,000	350,000	470,000	470,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・運動公園テニスコート（7 面）の人工芝コート（5 面）の全面更新とハードコート（2 面）の人工芝コートの改修
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
改修整備する施設数	面			14
事業費計	千円	0	0	69,276
一般財源	千円			39,276
特定財源（国・県・他）	千円			30,000
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	経年劣化による人工芝部分の亀裂や剥離の大規模改修を行ったことにより、利用促進や利用者の怪我防止、競技性の向上が図れた。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない
市有スポーツ施設の利用人数	人	214,029	355,475	462,351	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

今後、南側コート 7 面の改修を行う必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	運動公園等長寿命化事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	新規事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	R4	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設等整備事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	平成 3 0 年度国庫補助を受け、運動公園、田沼GSC、中運動公園の 1 0 か年の長寿命化計画を策定。令和 3 年度に市公園施設長寿命化計画（都市整備課所管）に統合し、令和 4 年度から運動公園施設の長寿命化を実施。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に施設の改修を行い、安全で快適なスポーツ施設に整備する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
		市有スポーツ施設の利用人数	人	250,000	300,000	350,000	470,000	470,000

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	運動公園 工事：四阿、遊具更新 設計：パーゴラ等 中運動公園 工事：遊具更新	活動指標	単位	R3	R4	R5
		改修整備する施設数	施設			3
		事業費計	千円	0	0	38,470
		一般財源	千円			3,370
		特定財源（国・県・他）	千円			35,100
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設改修を行うことにより、安全で快適に利用できるようになる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		市有スポーツ施設の利用人数	人	241,029	355,475	462,351	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

いずれの施設も開設から、年数が経ち、施設の改修や更新が必要となっている。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	運動公園陸上競技場第 2 種公認更新事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	スポーツ推進課		運動公園陸上競技場第2種公認更新事業		款	10	新規or継続	新規事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H30	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設等整備事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・運動公園陸上競技場は、平成元年 3 月に竣工し、公益財団法人日本陸上競技連盟より第 2 種競技場として公認を受けている。建築後 3 0 年以上が経過しているが、5 年ごとの更新時には、公認が継続できるよう改修を実施する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	タイム計測用電気配線等更新、トラックの一部補修、ABゾーンの洗浄、必要備品の購入。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
市有スポーツ施設の利用人数	人	250,000	300,000	350,000	470,000	470,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	タイム計測用電気配線等更新、トラックの一部補修、ABゾーンの洗浄、必要備品の購入を行った。
----------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
改修整備する施設数	施設			1
事業費計	千円	0	0	76,765
一般財源	千円			31,565
特定財源（国・県・他）	千円			45,200
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	第 2 種公認陸上競技場の検定に合格したことにより、栃木県陸上競技協会の主要な大会を開催できるようになった。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が小さいほど良い	効果は変わらない
市有スポーツ施設の利用人数	人	241,029	355,475	462,351	値が大きいくほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない
費用の増減無し		効果が下がった
費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	市有スポーツ施設LED照明整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	新規事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	義務的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業開始年度	R5	実施方法	直営	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		事業終了年度		事業分類	施設等整備事業	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市有スポーツ施設の外灯の水銀灯、ナトリウム灯を長寿命で省エネルギー効果の高いLED照明に更新することにより、二酸化炭素の排出削減を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市有スポーツ施設の外灯の水銀灯、ナトリウム灯を長寿命で省エネルギー効果の高いLED照明に更新することにより、二酸化炭素の排出削減を図る。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
改修整備する照明の灯数	灯			218		
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	屋外灯 215灯 屋内灯 3灯
--------------------------	--------------------

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
改修整備する照明の灯数	灯			218
事業費計	千円	0	0	20,132
一般財源	千円			1,032
特定財源（国・県・他）	千円			19,100
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	電灯をLED化することにより、二酸化炭素の排出を削減する。
------------------	-------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
改修整備する照明の灯数	灯			218	値が大きいほど良い	効果が上がった
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市有スポーツ施設の良好な状態を維持する。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	体育施設備品購入事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	新規事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H31	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	施設等整備事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・日本スポーツ振興センターのTOTO助成（スポーツ振興くじ）を利用し、老朽化した施設の備品の更新、購入を行う。 令和元年度 陸上競技場（ハードル更新） 令和2年度 陸上競技場（小学生用ハードル） 令和4年度 運動公園市民体育館 移動式バスケットゴール
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全・快適に利用できる体育施設の整備を図る
-------------------------	----------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
備品購入	式	0	1	1	1	1
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・陸上競技場 フィニッシュタイマー 1 台 購入
--------------------------	--------------------------

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
備品購入	式	0	1	1
事業費計	千円	0	9,331	6,136
一般財源	千円		3,331	1,103
特定財源（国・県・他）	千円		6,000	5,033
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・市有スポーツ施設の良好な状態を維持する。 ・市有スポーツの利用促進を図る。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
備品購入	式	0	1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	2指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果は変わらない

効果			
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
費用は下がった	○		
費用の増減無し			
費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）